

決算説明会資料

2025年9月期 第3四半期

アクセルマーク株式会社（東証グロース:3624）

2025年8月14日

1. 財務基盤の安定化と成長戦略の実行状況

2. 2025年9月期 3Q業績概要

3. 注力事業の状況

4. 2025年9月期 業績予想の進捗

資金調達を実施（2024年11月11日付 第三者割当による新株予約権を発行）

成長戦略を遂行し、グロース市場が求める高い成長性を実現のため、積極的なM&Aやアライアンス等で成長を加速させる

成長戦略①

トレカ事業の拡大

店舗ならではの体験とECサイトでの利便性を融合させることで、顧客接点を拡大し事業成長を加速

店舗展開

集積した販売データを分析することで、最適な出店計画に基づく多店舗展開を図る

EC展開

インターネット領域における広告事業で培ったウェブマーケティング力とシステム開発力の強みを活かした、オリパ専用サイトやアプリ開発などを計画

成長戦略②

ヘルスケア事業の拡大

ヘルスケア領域を推進する事業会社として完全子会社アクセルメディカ株式会社を設立
医療機器製造販売業許可等を活かし感染症プラットフォームの早期実用化を目指すとともに、アライアンスやM&Aなどの戦略的な拡大により迅速かつ幅広い事業展開を図る

※オリパ: ユーザーから買い取ったトレカや新品のトレカを用いたオリジナルパック

第29回新株予約権 行使完了（累計約9.6億円を調達）

約7カ月間で累計約9.6億円の資金調達を完了

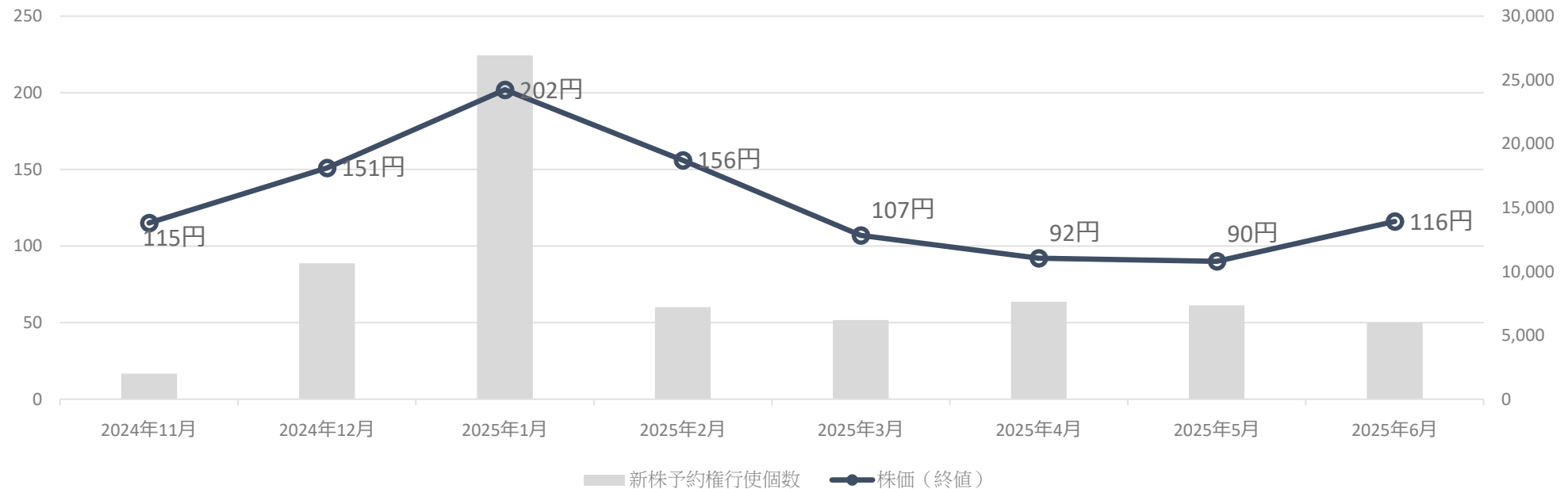
当初行使価額117円を上回る平均行使価額129円で調達を実現（当初の調達想定から0.9億円プラス）

発行株式数増加も株価は同水準を推移

第29回新株予約権の行使状況の推移

（単位：円）

（単位：個）



資金調達の実行状況(2025年7月末時点)

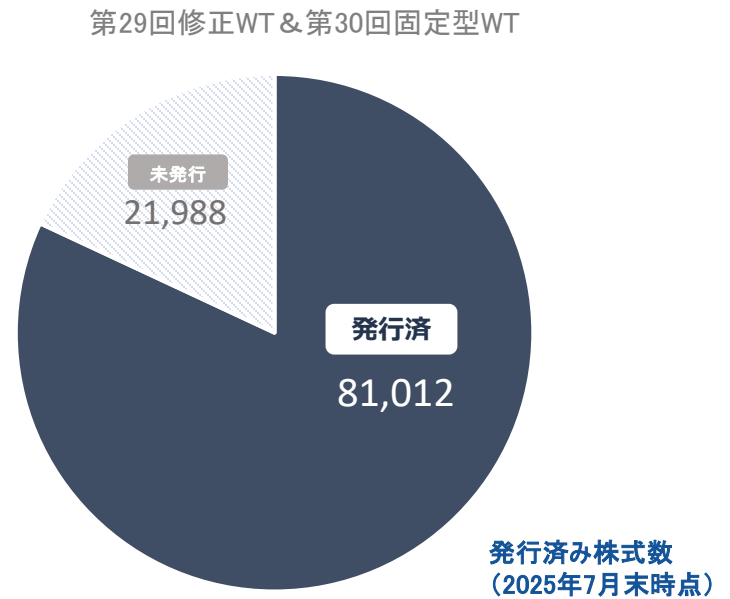
第30回新株予約権の行使が進行中

順調な新株予約権の行使により、トレカ事業、ヘルスケア事業への積極的な投資を実行中
着実に財務基盤の安定化と収益構造の改善を図る

調達済み資金状況 (単位: 百万円)



発行済み株式状況 (単位: 個)

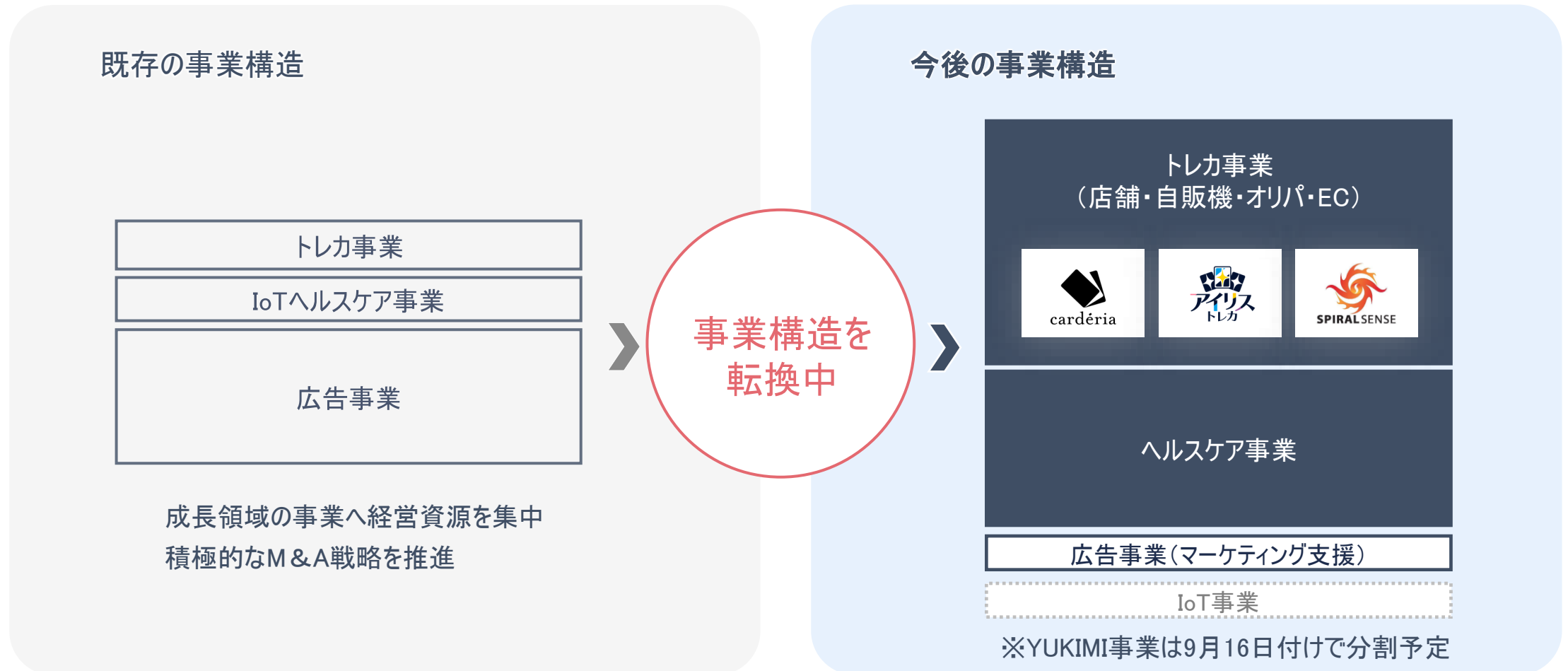


(※) 第29回修正型WT・・・第29回新株予約権(行使価額修正条項付)ことで、行使価額が一定の条件のもとで修正される。
第30回固定型WT・・・第30回新株予約権のことで、行使価額は発行時に定めた価額で固定される。

事業の選択と集中を実行中（YUKIMIサービスの事業分割を決定）

積雪深自動モニタリングシステム「YUKIMI」の事業分割を決定

アドネットワークサービスを基盤としたBtoBビジネスから、トレカ事業を中心としたBtoCビジネスに事業構造を転換へ
抜本的な既存リソースの再配分を実施し事業の選択と集中を加速



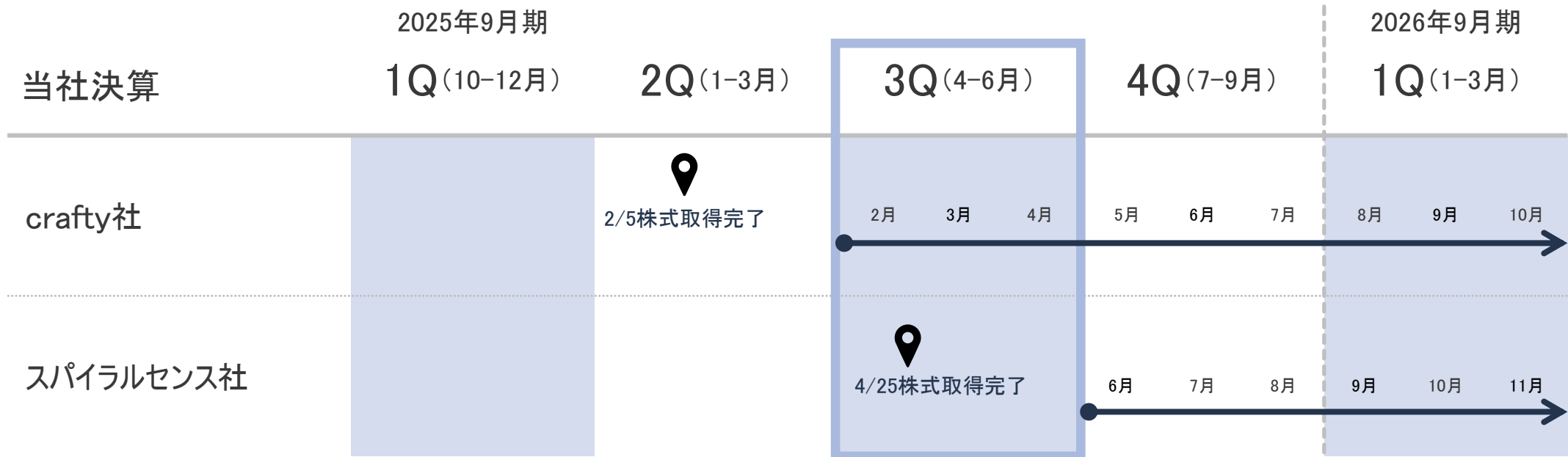
crafty社 業績取り込みを開始

当第3四半期より、crafty社（ECトレカサービス事業）の業績を取り込み

crafty社は、業績拡大に向けて、企画開発、認知度向上への投資および人員体制の強化を推進中

スパイラルセンス社（ゲームアプリ開発事業）は、第4四半期より業績貢献を予定

決算取り込み時期



1. 財務基盤の安定化と成長戦略の実行状況

2. 2025年9月期 3Q業績概要

3. 注力事業の状況

4. 2025年9月期 業績予想の進捗

2025年9月期 3Qサマリー

売上高

247 百万円

(前四半期: 219百万円)

営業
利益

▲103 百万円

(前四半期: ▲123百万円)

当期
純利益

▲230 百万円

(前四半期: ▲157万円)

EBITDA

▲100 百万円

(前四半期: ▲122百万円)

□ 概況

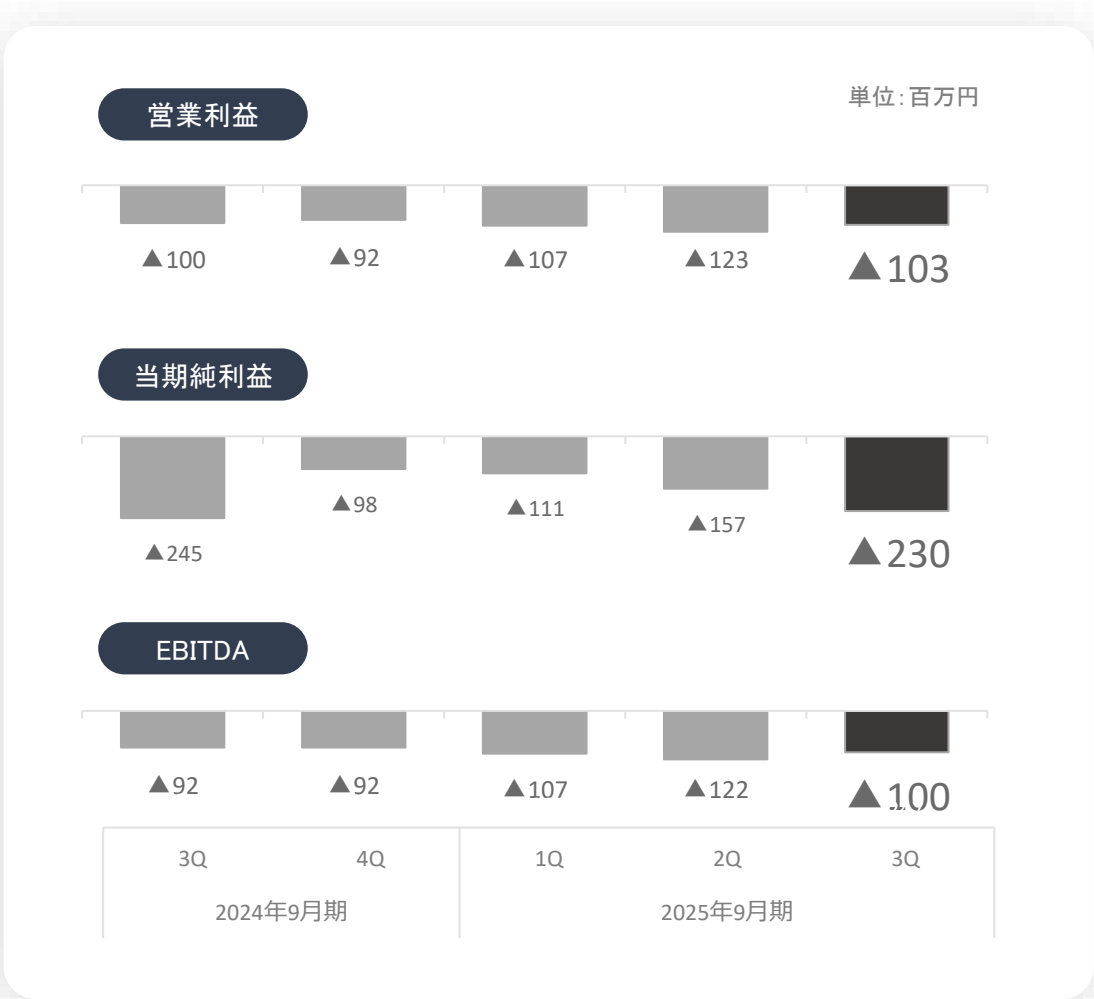
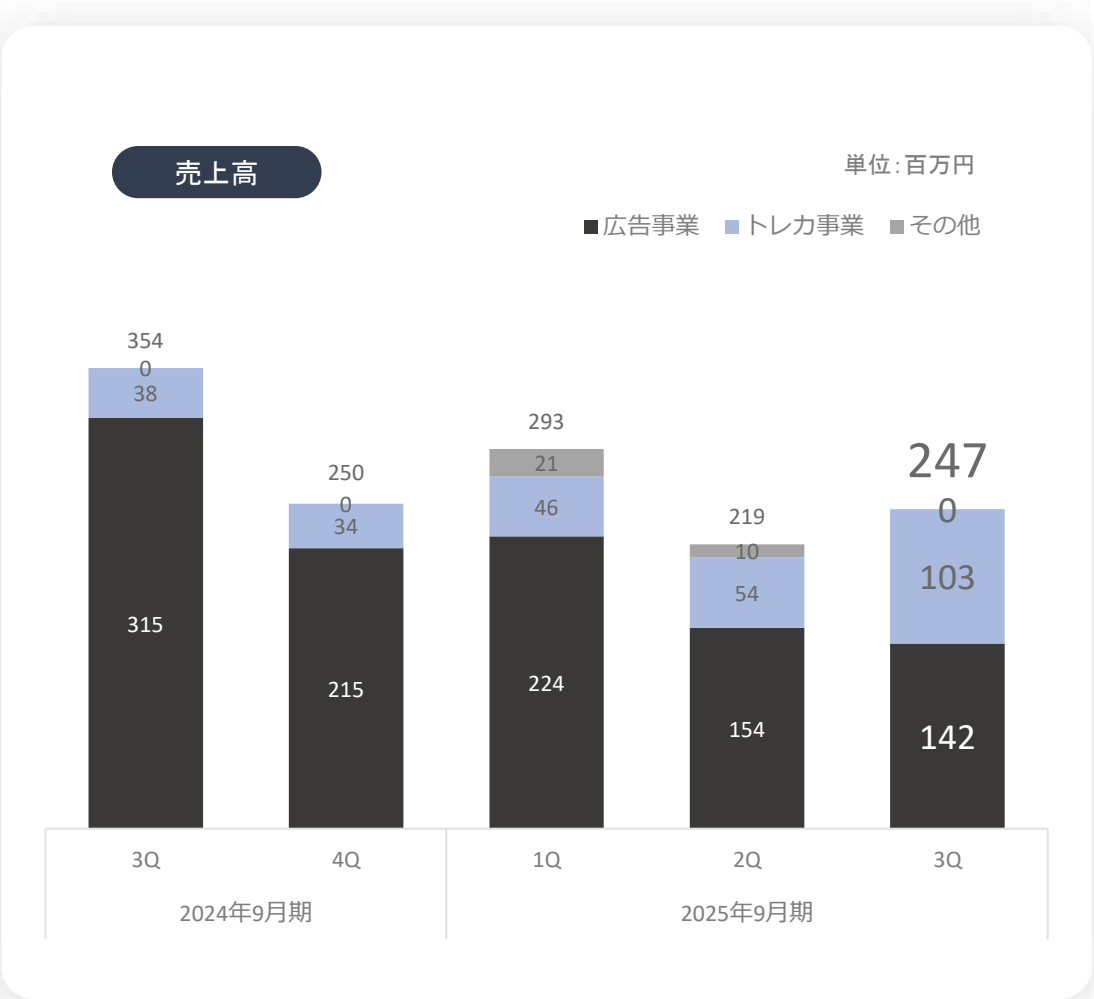
- ・事業構造の転換に向けた取り組みとして、積雪深自動モニタリングシステム「YUKIMI」の事業分割を決定
成長領域(トレカ事業、ヘルスケア事業)に経営資源を集中
- ・第29回新株予約権の行使完了、資金調達による財務基盤の安定化および成長戦略を遂行中
- ・M&A戦略として子会社化したcrafty社、スパイラルセンス社において、来期事業拡大に向け準備中
- ・トレカ事業は、事業の旗艦店となる1号店『cardéria池袋店』にて様々なキャンペーンを実施

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費+のれん償却費

※2025年9月期2Qより連結決算に移行したため、2025年9月期1Q以前の実績は非連結実績を記載しております。

業績の四半期推移

トレカ事業は、店舗売上増加および当第三四半期よりcrafty社の業績を取り込み、売上高増加
広告事業は、事業体制の見直しや運用コストの徹底的な最適化により収益改善



※2025年9月期2Qより連結決算に移行したため、2025年9月期1Q以前の実績は非連結実績を記載しております。

損益計算書四半期推移

成長領域（トレカ事業、ヘルスケア事業）に経営資源を集中することで、迅速な事業構造の転換を実行中
協業先の財務状況の悪化により、関連する債権および商品の評価見直しを実施し、特別損失を計上

単位: 百万円

	前期	当期		当期	QonQ 差異
	4Q	1Q	2Q	3Q	
売上高	250	293	219	247	+28
売上原価	240	287	203	200	▲3
売上総利益	10	5	15	46	+31
販売費及び一般管理費	103	113	139	150	+11
営業利益	▲92	▲107	▲123	▲103	+20
営業外収益	▲8	9	1	2	+1
営業外費用	0	14	36	28	▲8
経常利益	▲101	▲112	▲158	▲129	+29
特別利益	3	1	1	1	+0
特別損失	-	-	-	102	+102
税引前当期純利益	▲97	▲110	▲156	▲230	▲74
法人税等	0	0	0	0	+0
親会社株主に帰属する当期純利益	▲98	▲111	▲157	▲230	▲73
EBITDA	▲92	▲107	▲122	▲100	+22

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費+のれん償却費

※2025年9月期2Qより連結決算に移行したため、2025年9月期1Q以前の実績は非連結実績を記載しております。

貸借対照表概要

当第3四半期連結累計会計期間より、crafty社およびスパイラルセンス社の貸借対照表を連結の範囲に含む
累計額10.0億円の資金調達実行により、純資産（資本金等）が大幅に増加

単位：百万円

	2024年 9月期 4Q末	2025年 9月期 3Q末
流動資産	674	1,140
現金及び預金	510	955
売掛金	65	62
その他	97	121
固定資産	250	322
有形固定資産	-	19
無形固定資産	-	70
投資その他の資産	250	231
資産合計	925	1,462
自己資本比率	49.6%	64.9%

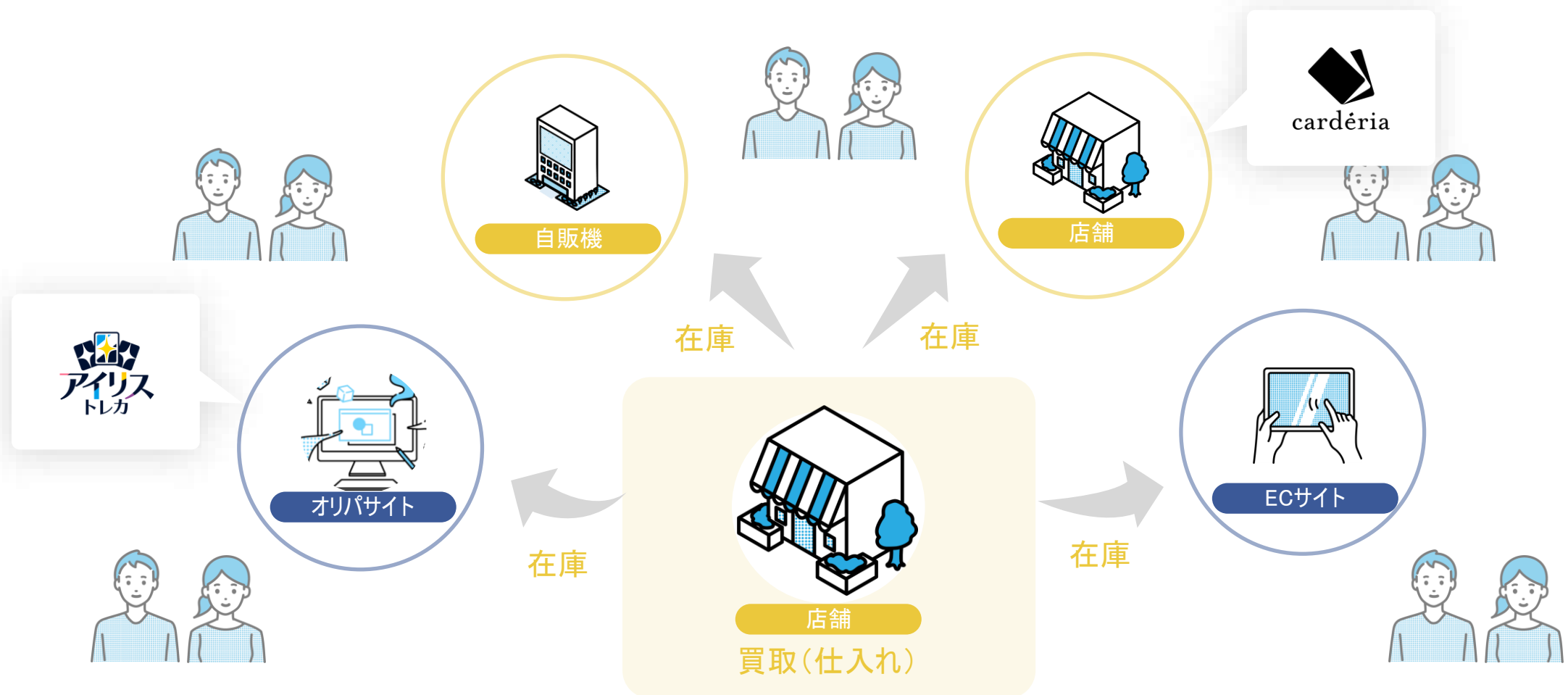
	2024年 9月期 4Q末	2025年 9月期 3Q末
流動負債	99	125
買掛金	58	40
その他	41	84
固定負債	358	379
長期借入金	-	21
転換社債型新株予約権付社債	356	356
その他	1	1
負債合計	457	504
資本金等	946	1,956
利益剰余金	▲490	▲1,020
新株予約権	8	8
その他	2	13
純資産等合計	467	957
負債・純資産等合計	925	1,462

※2025年9月期2Qより連結決算に移行したため、2024年9月期4Q末の実績は非連結実績を記載しております。

1. 財務基盤の安定化と成長戦略の実行状況
2. 2025年9月期 3Q業績概要
3. 注力事業の状況
4. 2025年9月期 業績予想の進捗

トレカ事業 オムニチャネル(オンライン・オフライン)戦略について

店舗展開および EC 展開の双方を注力領域として、店舗での購入や買取体験と、ECサイトでの利便性を融合させることで、顧客接点を拡大し、オンラインとオフライン双方でのトレカ事業の拡大を推進する



トレカ事業 事業内容

2025年3月にグランドオープンした『cardéria池袋店』の地盤固めに注力
旗艦店として運営ノウハウを集積するとともに、収益基盤の確立と顧客満足度の向上を図る

●安定した店舗運営体制の構築

従業員教育の強化やオペレーションの最適化、トッププレイヤーを招いた多彩イベントなどを開催

●公式認定大会の拡充

ポケモンカードゲーム公認大会が開催できる「ポケモンカードジム」をはじめ、各タイトルの公式認定を取得



2023.09

自動販売機展開
事業のベース構築

完

2025.2Q

店舗展開
販売 × 買取体制構築



開設準備中

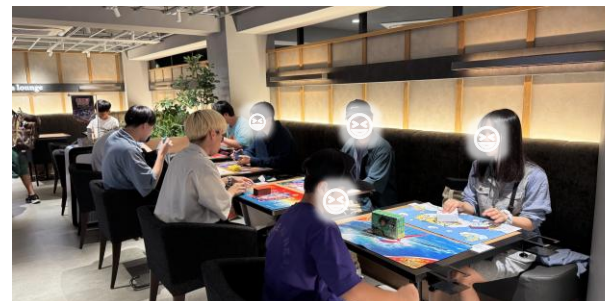
2025.4Q

ECサイト開設
販売 × 買取体制強化

トレカ事業 事業内容

ポケモンカードゲームの公式称号を持つトッププレイヤーを招いたイベントを開催

ポケカ四天王のキクチシュウマ氏を招き、店舗主催のポケモンカードゲーム大会を開催
親子連れの参加者も見られ、大会上位入賞レベルの競技プレイヤーからライトユーザーまで幅広い層が参加
大会終了後には、希望者を対象としたキクチシュウマ氏とのフリーバトル企画も実施
終日にわたり活気に満ち、参加者同士の交流も活発に行われるなど、大変盛況な大会となった



トレカ事業 事業内容

公式認定大会の拡充: ポケモンカードジム 公式認定

ポケモンカードゲームの公式大会が開催できる「ポケモンカードジム」として認定
9月から公認大会を開催予定

その他、各カードゲームタイトルの公認大会の開催体制を順次拡充中

※ワンピースカードゲーム、デュエル・マスターズ、ユニオンアリーナは既に公認大会を開催中

ポケモンカードジム公式認定のメリット

- ジムイベントの開催申請および実施
- イベント検索での告知により、プレイヤーがトレーナーズウェブサイトを通じてイベント開催を認知することが可能
- ポケモンカードジム限定商品の販売
- 各種キャンペーンの対象店舗としてプライズ(景品)の配布

今後の見通し

ポケモンカードゲーム公認大会の開催により、お客様により高品質なカードゲーム体験を提供するため
初心者向けイベントから競技性の高い大会まで、幅広いプレイヤー層のニーズに対応した公認イベントを継続的に開催。
カードゲームコミュニティの発展に貢献する。

ヘルスケア事業 複数のプロジェクトが進行中

成長戦略の推進について

感染症プラットフォーム「AscellaOne」の早期実用化（Project A）と並行して、新規事業開発（Project B）や戦略的出資によるアライアンス（Project C）などを実施迅速かつ幅広い事業展開により来期以降の業績貢献を見込む

Project A

パートナーとの協業プロジェクト
（AscellaOneの製造販売）

- ・第二種医療機器製造販売業許可取得（2024年12月）
- ・体外診断用医薬品製造販売業許可取得（2024年12月）

Project B

自社独自の新規事業開発
（化粧品自社ブランドの開始）

- ・化粧品製造販売業許可取得（2025年6月）
- ・医薬部外品製造販売業許可取得（2025年6月）

Project C

有望企業への戦略的出資
（韓国トレンドサプリメントの販売）

今後の見通し

これらの取り組みにより、2025年度以降の収益基盤の多様化と拡大を図ってまいります。
各プロジェクトの具体的な進展状況につきましては、開示可能となり次第、速やかにご報告いたします。

1. 財務基盤の安定化と成長戦略の実行状況
2. 2025年9月期 3Q業績概要
3. 注力事業の状況
4. 2025年9月期 業績予想の進捗

2025年9月期 業績予想の進捗

2025年5月14日付で、crafty社、スパイラルセンス社を完全子会社化したことにより、連結決算業績予想を発表
成長領域（トレカ事業、ヘルスケア事業）への集中投資と積極的なM&A戦略を通じ、事業構造の転換を加速
来期に向けた投資・準備を実行しており計画通りに推移

単位：百万円

	2024年9月期 通期 実績	2025年9月期 3Q 実績	2025年9月期 通期 予想
売上高	1,584	759	1,031
営業利益	▲305	▲334	▲568
経常利益	▲250	▲400	▲656
当期純利益	▲388	▲498	▲766

※2025年9月期2Qより連結決算に移行したため、2024年9月期通期の実績は非連結実績を記載しております。



当資料はアクセルマーク株式会社が作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。

当資料は当社の現在発行している、また将来発行する株式や債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。

また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが、当社がその正確性を保証するものではなく、事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。

最新情報やお問い合わせは下記のコーポレートページよりお願いいたします。

<https://www.axelmark.co.jp/ir/>